

町会の新しい取組み事例集

～イベント開催の工夫やデジタル活用など～

町会活動に、より多くの人に参加してもらえるように、ホームページでまちの情報を共有する、オンライン・ツールを使ってコミュニケーションを活性化し、親子参加の交流の場をつくる、学生などの力を借りるなど、各町会で新しい動きが始まっています。

2023年3月22日に開催されたイベント「地縁コミュニティを未来志向で考えてみよう!」では、区内の町会の取組みが紹介されました。イベントでは、新しい人に関心を持ってもらうには「楽しい」を伝えることが大切という話にもなりました。

この資料では、イベントで紹介された事例の背景、工夫、ポイントなどをまとめました。町会活動のヒントとしてご活用いただければ幸いです。

多町二丁目町会

HPでの情報発信 住民向けのイベント開催

内容

都の「地域の課題解決プロボノプロジェクト」を活用し町会独自のホームページを開設。町会員でない人向けにも、町会と神田祭を紹介するイベントを実施。

背景

町会の活性化のため、町会内にあるマンションのファミリー層との接点をつくりたい、町会の様子を発信し、多くの人に目にしてもらいたいという思いから。

工夫していること

HP上で明確に地域の住民へ呼びかけ、子どもが楽しめるイベントによりファミリー層との接点をつくる。イベント参加者にはHPのQRコードを案内し今後も情報を届ける。

地域でおきていること

「もっと知って神田」はお子さんが30人も参加するイベントに。今後も、毎年秋、開催していく予定。

ポイント

- ✓ HPを通じて、町会活動を内外に紹介
- ✓ 地域の住民（非会員の人）にメッセージを示す
- ✓ 「祭」を活かしたファミリー層へのアプローチ

多町二丁目町会 ホームページ



「もっと知って神田!」イベント開催

田畑 秀二会長



ホームページ

<https://ta2member.wixsite.com/home>

西神田町会

YouTubeチャンネルを活かし
身近な地元情報や町会行事を動画で紹介

内容

町会行事やご近所の様子や地域のイベントなどの地元情報を、YouTubeチャンネルで紹介。

背景

コロナ禍に高齢者向けのLINE講座をしたが、結局使われないため、「おもしろそう」というスマホを使うきっかけを提供したい、動画を一緒に作ることでつながりを作りたいと考えたため。

工夫していること

誰でもできるように、スマホで、撮影・編集し、短い動画を作成。ご近所の様子を伝え、身近に感じてもらえるように。また、担当も楽しみながら、楽しい動画を作成。

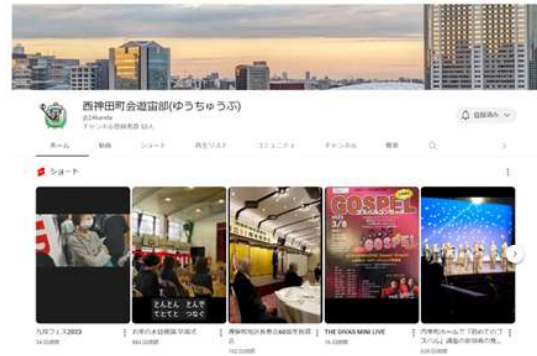
地域でおきていること

動画の撮影・編集が得意な人がメンバーに、また、内外に町会行事や様子が伝わるようになった。将来的には、町会員がそれぞれで撮影・投稿できるようにしたい。

ポイント

- ✓ 手軽に、気軽に動画制作・投稿
- ✓ 自分の「したいこと」「できること」ができる町会
- ✓ 楽しんで活動することが、町会の魅力を伝えることに

西神田町会遊宙部 (YouTubeチャンネル) トップ画面



編集講座の報告動画



角田 光正会長



YouTube
チャンネル

<https://www.youtube.com/@24kanda>

東松下町々会

新しい人とコミュニティづくりを目指し
誰もが参加できる多彩なイベントを実施

内容

新しい人も気軽に参加できる「町会って楽しそう」と思ってもらえるイベントを多彩に開催。また、HP、SNS、紙媒体と、多様なメディアで町会の行事や取組を発信。

背景

小学校跡地に建設された区営及び民間の集合住宅の新しい住民(従来の居住者の4倍以上)をどう受け入れ、一緒にコミュニティを作っていくかが、課題となっていた。

工夫していること

参加してもらうことが一番と、町会の加入の有無にかかわらず地域の子どもたちが参加できるラジオ体操や1年生を迎える会などのイベントを開催。イベント参加した保護者が必要を感じたら加入してもらえるように期待。イベントには地域の企業や団体の協力を得ることも。

地域でおきていること

民間集合住宅も3割程度の人が町会に加入。子どもが増えたことが地域の活性化にもつながっている。

ポイント

- ✓ 自分から入りたい!と思える町会に
- ✓ イベントはまずは誰もが気兼ねなく参加できるように
- ✓ 新しいコトは、何かできそうなことからやってみる

子どもたちが楽しめるイベントの開催



写真コンテスト



東松下町々会
関 真弓さん



ホームページ

町会の方に昔の写真を提供していただき、現在の様子と見比べました

<https://higashimatsushitacho.tokyo/>

富士見二丁目町会

ミニイベントとLINE公式を活かし、新しい人との多様な接点をつくる

内容

「役立つ」と「楽しい」の2軸のミニイベントを数多く実施（LINE教室、ミニ四駆イベント、クリスマス会など）。LINE公式での町会や地元情報の発信。

背景

町会内の一部のマンションの全戸加入がなくなり、個人で加入してもらえそうなPRが必要に。また、HPの閲覧数が伸びないため、新たな接点を作る必要がでてきた。

工夫していること

役員でイベントアイデアを出し合い、実施は法政大学の学生や地域の育児サークルなどと連携したり、協力してもらっている。イベント参加者にはLINE公式のQRコードを紹介し、継続的に情報を届けられるようにしている。

地域でおきていること

子供向けイベントは400人以上が参加するイベントに。ここからどれだけ町会加入につながるかは、これから。

ポイント

- ✓ イベントと情報提供のセットで、接点をたくさんつくる
- ✓ 自分たちでできないことは、他の団体の力を借りる
- ✓ 町会に入ると「役立つ」「楽しい」を見せていく

ミニイベント



春の二丁目まつり
富士見二丁目広場に集まろう！
3月12日(日) 13:00~15:30
無料

キッズフリマ ミニ四駆レース
ポッチャ ブラレール
体力測定

※当日雨天の場合は内容を変更して富士見区民館にて実施します！

富士見二丁目町会 主催 TEL.090-4009-1107
東京大神宮通り・飯田横西口通り商業連合会 協力



法政大学ボランティアセンター & 富士見二丁目町会 合同企画
街歩きに役立つ スマホ知識補給！
スマホを使って 街歩きをしよう！

電子マネー Googleマップ QRコード 天気予報の見方
LINEの使い方 写真の撮り方 送る方 歩数計

法政大学の学生ボランティアが、スマホの使い方を丁寧にレクチャー！法政大学や靖国神社を街歩き！

日時：11月13日(日) 13:00~15:00
集合場所：富士見区民館 地下1階
募集人数：20名
持ち物・格好：スマホ、飲み物、歩きやすい靴

<お申し込み> 富士見二丁目町会
電話：090-4009-1107 (担当：渡辺) どちらか都合がある方に
090-3345-8411 (担当：永田) どちらか都合がある方に
E-mail: yutoimai32@gmail.com (担当：今井)

雨天の場合は、室内でスマホの使い方だけを実施します。皆さまのご参加をお待ちしています。

二丁目広場子どもまつり



鍋木雅裕町会長 及川浩二朗副町会長
(総務広報部長)



ホームページ



<https://fujimi2.sakura.ne.jp/>

飯田町町会

地域の人にあまねく情報を届けるために町会HPとLINE公式を開設

内容

在住、在勤など地域のすべての人たちに必要な情報を届けるため、町会が知っている情報や町会活動情報をホームページ（HP）とLINE公式で情報発信。

背景

町会には区や色々な機関からの情報が大量に届いているが、全てを届けられない状況だった。特に一部の人のみ必要とする情報は届きにくいという懸念もあった。LINEはお年寄りも使っている人も多いため、有効と判断。

工夫していること

HPやLINE公式には、千代田区や千代田区社会福祉協議会、地元の商店会のHPへつながる入り口も掲載。必要としている人が必要な情報にたどり着くように工夫。

地域でおきていること

HP開設の試行中にも、2人から町会加入の申し込みがあった。地域のためにという思いや姿勢に共感した人が町会に入ってくれるのではと考えている。

ポイント

- ✓ 地域のすべての人に貢献できる町会に
- ✓ 町会が地域の人に情報を届ける入り口に
- ✓ LINEの特性を活かし、情報発信

飯田町町会ホームページ トップ画面



LINE公式画面



松村 善一会長



ホームページ



<https://iidamachi.com/>

自己紹介 5つの質問を使って、交流してみませんか？

千代田区で多様な分野、テーマで活動する人が交流するイベント「ちよだコミュニティラボライブ！2023」が2023年3月11日に開催されました。町会、地域活動、サークル、大学などの活動に参加する約70名が、自分が活動を始めたきっかけ、楽しさ、苦労・工夫、これからのことを“自分のストーリー”として話し、交流しました。

区内では多種多様な活動者がいますが、異なるテーマの人が出会う機会は少なく、知り合えていません。

町会長、マンション住民、学生が共通の「自己紹介 5つの質問」を使って話すことで、初めて会った人の間にも共感が生まれていました。

参加者の声より

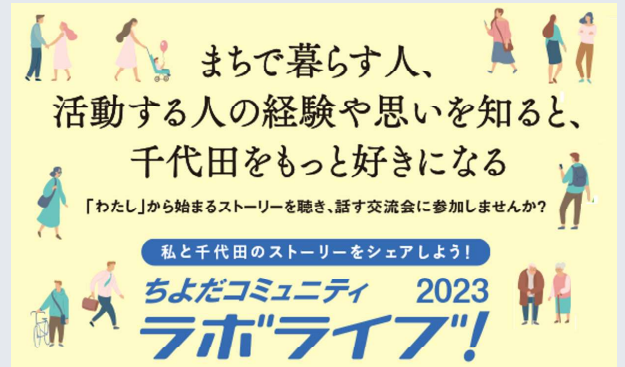
○千代田には、こんなにたくさんのそれぞれ違うことをやっている人がいるんだとびっくりした。

○活動名は知っていたが、なぜ始めたのか、何が楽しいのか知れて、参加してみたくなった

○自分を開示することから交流が始まると思った

この交流で新しい人とも、前から知っている人とも距離が近づくと好評をいただきました。

地域の活動でも総会や交流会などで「自己紹介 5つの質問」を使ってみませんか？



【自己紹介 5つの質問】

1. 今、どんなことをしていますか？
2. それを始めたきっかけは？
3. 楽しいことは？ 続けている理由は？
4. 苦労や難しさは？どんな工夫をしている？
5. これからしたいことは？

内神田鎌倉町会 斎藤会長への5つの質問



1. 町会長、民生委員をしています
2. 生まれた時から神田のまちに関わっています
3. 久しぶりの祭りをみんなで準備するのが楽しいです。江戸最古町を若い世代につなげるよう続けてきました。
4. ブログで情報を共有し、活動を理解してもらう工夫をしています。それが祭りの寄付にもつながるでしょう。
5. 今のマンションの子どもが将来の町会長になるかも！

岩本町三丁目町会 企画広報部長 早川さんへの5つの質問



1. 岩本町・東神田ファミリーバザール実行委員会
2. 出展企業でしたが町会役員さんに誘われて
3. 会の運営を通し地域活性化に貢献できること。町会で神田祭に参加し、そこでもつながりが広がりました
4. 家族連れや若手の参加を促すようLINEでの情報交換や役割分担の偏りをなくすなどの工夫をしています。
5. どちらの活動も理解を広げ、参加者を増やしたいです

千代田で活動する多様な方の5つの質問の自己紹介を動画で掲載しています。

区内での活動を知るきっかけに、自分の活動で活用するヒントにご活用ください。

<https://x.gd/uRg1A>



千代田は「アーバニスト」のまち！
アーバニスト@千代田 で活動情報を発信しています

個人の思いから始まる活動を通して、地域の魅力と暮らしやすさを高める。その動きをする人は、

「アーバニスト」と呼ばれています。千代田で個人から始まる動き、町会やサークルの活動を紹介するサイト「アーバニスト@千代田」を公開中。ぜひご活用ください。



まちの歴史をコミュニケーションのきっかけに！
オンラインちよだ探訪（麹町・番町）レポート

新しく住み始めた方も、住む町の歴史への関心を高く持っています。六番町町会 新井会長が地域の歴史をオンラインでお話しされ、マンション住民も多数参加したイベントのレポートを配布中です。

ちよだコミュニティラボ

区内の活動する人をつなぐ、活動の情報発信、運営の活性化の相談・サポートを行っています。

chiyolab.jp

事務局
千代田区コミュニティ総務課
株式会社エンパブリック

問い合わせ
千代田区コミュニティ総務課
03-5211-3656
komisoumu@city.chiyoda.lg.jp

「まちの歴史」を コミュニケーションのきっかけに！

オンラインちよだ探訪(番町・麴町)の事例より

2022年12月2日に、地域の歴史や地域のお店、活動について、六番町町会の新井巖会長をはじめとした地元の方のお話を聞くオンラインイベント「オンラインちよだ探訪(番町・麴町編)」を開催しました。番町・麴町にお住まいの方を中心に、新しい住民の方、町会活動に参加していない方などの22人の参加がありました。

イベント内容

オンラインちよだ探訪 - 歴史・老舗・地域活動に出会おう! -

■ 開催日：2022年12月2日(金) ■ 時間：19:30-21:00 ■ Zoomによるオンライン開催

1 番町・麴町の歴史の話

(六番町町会会長 新井巖さん)

- 番町・麴町はどんなまち？
- まちの移り変わり
- 文人通りについて

2 番町・麴町のお店の話

- よろず屋酒店(明治創業)安田郁子さん
- 地元のお勧めのお店
- あるまっぶの紹介

3 地域の活動について

- 麴町消防団
- ONECHIYODA 三浦祐介さん



当日の参加者



イベントチラシ

✓ 「地域の歴史」「地元のお店」「地域活動」を紹介することで
新しい住民の方とのコミュニケーションのきっかけが生まれた！

参加者の声

自分の住んでいるところってスゴイと思った！

地域の活動が知れて充実した気持ちになった！

古くからお住まいの方の思いがよく伝わった！

番町・麴町に関する歴史・文化など、勉強になった。

思ったより親しみやすい人達で、町会への敷居が低くなった。

町会長さんがお話をしてくれて、顔が知れて有り難かった！



六番町町会会長
新井巖さん

Zoomでご参加の方も、熱心に聞いていただき、大変楽しくまた勉強になりました。町会への敷居も、どうすれば低くできるか一考させられました。また、参加者の方の様々なまちへの想いが感じられました。これを機会に、何か新たな動きが生まれてきたら嬉しいです。



共感する気持ちから地域への参加がはじまる！

直接的に話を聞くことで、自分とは縁遠いと思っていた「地域」に対するハードルが下がり親しみを持てるようもなってきます。地域のことを知ること、歴史を知ること、地域活動に参加しようという意欲も高まります。



「地元の人への想いが知れて良かった！」という回答アンケートが多数！

「地域の有益な情報を知りたい」「歴史を知りたい」動機で参加していましたが、結果として「地元の人への思いを知れた」ことがよかったという人が多く、書籍や表面的な情報だけでは知り得ない「思い」を知れたことが良かった！というアンケート結果でした。

まちの歴史に興味があった

地域の情報を知りたかった



地域の情報や新井会長・安田さんの話を聞いて「人に対する共感」が生まれ「地域への思いを知ってよかった」という声が多かった。



地域活動に参加したことがないが、実は活動に関心がある人がたくさんいた！

お祭りに関わりたいが、どうやって参加するのか。私が町会に入っているのか、人の紹介があるのかなと思いついて、参加できていなかった。

朝ドラみたいな地域のつながりがある生活に憧れている。趣味を通じた地元の友達がほしい。

20年以上住んでいるが、知り合いがいないのでイベントに参加し始めた。本で読むまちの歴史ではなく、リアルなまちに関わる人の思いを知りたい。

住み始めて5年。地域の掃除や区主催の講座などを参加することで、地元の顔見知りも増え、今日は町会のことも聞けたので、今年は新年会にも参加する予定。

町会の人顔の見えない存在だった

どんな人達なのかわからなかった



顔を知り、話を聞き「地域に暮らす普通の人」「〇〇さん」という人として知る存在となったことで、町会に対するイメージが変わったり、参加のハードルを低くすることにつながった。



当日はオンラインで開催！（Zoomにて）

本イベントは、オンライン会議ツール「Zoom」を活用して開催しました。新井会長をはじめとしたゲストの方にも、それぞれ、Zoomでご参加いただきました。説明用の資料は、ゲストのお話に従い、運営事務局が「Zoom」の画面共有を行いながら進行了。ゲストの新井会長・安田さん・三浦さんもオンラインで参加してもらいました。



オンライン参加される新井会長と安田さん



当日の様子

オンライン参加者の声

手軽に受講ができるのが嬉しいし、話が集中して聴ける

コロナ禍で外出が出来ず、オンライン受講が楽しい時間！

忙しいので作業しながら聴けるオンラインが有難い

会場だと参加できないが、オンラインなら参加できる！

遅刻しても入りやすい、不参加でもアーカイブで見れる！

交流もしたかった！オンラインも会場も両方があると良い



イベント開催までの流れと企画・準備のポイント

企画を決める	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自分のまちのことと思ってもらえるように、地区を絞る（番町・麴町など）
日時を決める	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新しい住民や現役世代に参加してもらうためには、平日の遅めの時間（19:30以降）に設定
話をする人を選定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町会長や古くからお住まいの人、地元のお店の方に話してもらうことで「思い」が伝わる！ ■ 新しく町会や地域に参加している人の話もあると共感を得やすい。
チラシづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■ 名所だけでなく、街の馴染みのある風景の写真を入れる。
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 古い写真など、当日共有できる資料をパソコンで画面で見せられるように準備 ■ 事前にゲストと今回の目的や新しい人が興味があるところなど、伝えるポイントを考える
イベント実施	<ul style="list-style-type: none"> ■ イベントの記録やアーカイブ用の録画は、Zoomの機能を使えば簡単にできる！ ■ オンライン参加が難しい方には、会場にパソコンを用意して参加してもらうなどの対応もできる。
報告レポート作成・発信	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次の企画の参考にするためにアンケートをとる ■ 当日の様子をホームページやSNSで発信すると、新しい参加への呼びかけにもなる

地域の交流づくりにオンラインイベント実施しませんか？

新しい住民の方の「ライフスタイル」や「ニーズ」にあったオンラインイベント！

地域との関りを持ちたい、コミュニティ参加が大事と思っているが、町会は何をしているのか？どうやって参加するのがわからずに参加できないままになっている人もいます。そういう人は、まずは、様子を知りたい、ちょっと覗いてみたいと思っており、そうした関りが持てるものを求めています。一方で、コロナ禍でオンラインの活用はビジネスや個人のコミュニケーションのツールの一つとして定着し「オンラインで参加する」は日常のこととなっています。「オンライン」は、そうした新しい人のニーズやライフスタイルに合った参加形態といえます。

■ 今回のイベント参加者の
今後の参加意欲は？

今後もオンラインイベントに参加したい

100%

今後もオンライン交流に参加したい

65%

「オンラインイベント」を町会への参加の最初の接点づくりに！

今回のイベントには、地域に関心があっても、地域の活動に参加できていない人も多く参加していました。地元の情報を伝えるオンラインイベントは、比較的町会等のコミュニティ活動にこれから参加する可能性の高い人との「最初の接点づくり」となる可能性が見込めます。

■ 今後どんなオンラインイベントに参加したい？

- 歴史や、地域の取り組み、地域の良いお店情報などに興味がある！
- 防災などテーマの勉強会
- 単発でなくてシリーズで定期的を実施してもらいたい！
- 地元のお店について知りたい
- お祭や地元のイベントなどについて知りたい！
- 町会って何？を知りたい！
- まち歩きや対面での交流会とのセットでの実施

「オンラインイベント」を お手伝いします！

町会や地域での新しくお住まいになった人との接点づくりや、地域のコミュニケーション活性化のため、オンラインを活用してみませんか？ ちよだコミュニティラボでは、イベントやオンライン交流のお手伝いをします！ご質問やご不明点、お問い合わせなどは、以下へご連絡ください。

お問い合わせ

千代田区 地域振興部コミュニティ総務課
TEL：03-5211-3656 FAX：03-3264-7989
E-mail：komisoumu@city.chiyoda.lg.jp

運営事務局

ちよだコミュニティラボ事務局
chiyolab@empublic.jp
(株) エンパブリック

<https://chiyolab.jp>

